

当院での胆膵領域腫瘍の術前ドレナージにおけるメタリックステントの有用性の検討

1. 研究の対象

研究期間:臨床研究倫理委員会承認後～西暦 2022 年 12 月 31 日

対象:2011 年 1 月から 2019 年 12 月のあいだに術前ドレナージを行った方

2. 研究目的・方法

胆膵領域腫瘍は黄疸を主訴に発見されることが多く、本邦では減黄をおこなってから手術を行うことが一般的です。術前のドレナージの方法として従来はプラスチックステント(PS)を留置することが一般的でしたが、PS は早期に閉塞をきたして胆管炎を発症することが多いためメタリックステント(SEMS)を留置する報告が増えてきており、当院でも術前減黄に SEMS を積極的に用いています。そこで、当院での術前ドレナージの現状と、PS との閉塞イベント(RBO)などの比較を行い、SEMS の有用性を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:病歴、内視鏡の治療内容、副作用等の発生状況、等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 消化器内科 氏名 山崎智朗

〒534-0021

大阪市都島区都島本通2-13-22

電話 06-6929-1221(代表)